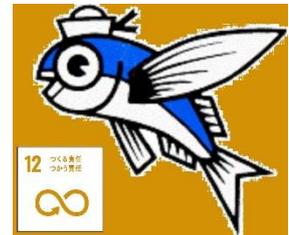


時 期	年間通して	時 間	2～3時間程度
難易度	☆☆☆	対 象	どなたでも



貝殻ろうそく



<活動の概要>

若狭でとれたアワビやサザエの貝殻に、溶かしたろうを流し込み、芯を入れてろうそくを作ります。

ろうや貝殻の上に若狭めのうの石を置き、飾りを工夫することもできます。

ひとつひとつの貝の形を生かしたり、色の組み合わせを考えたりして、世界に一つだけの貝殻ろうそくを作製しましょう。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

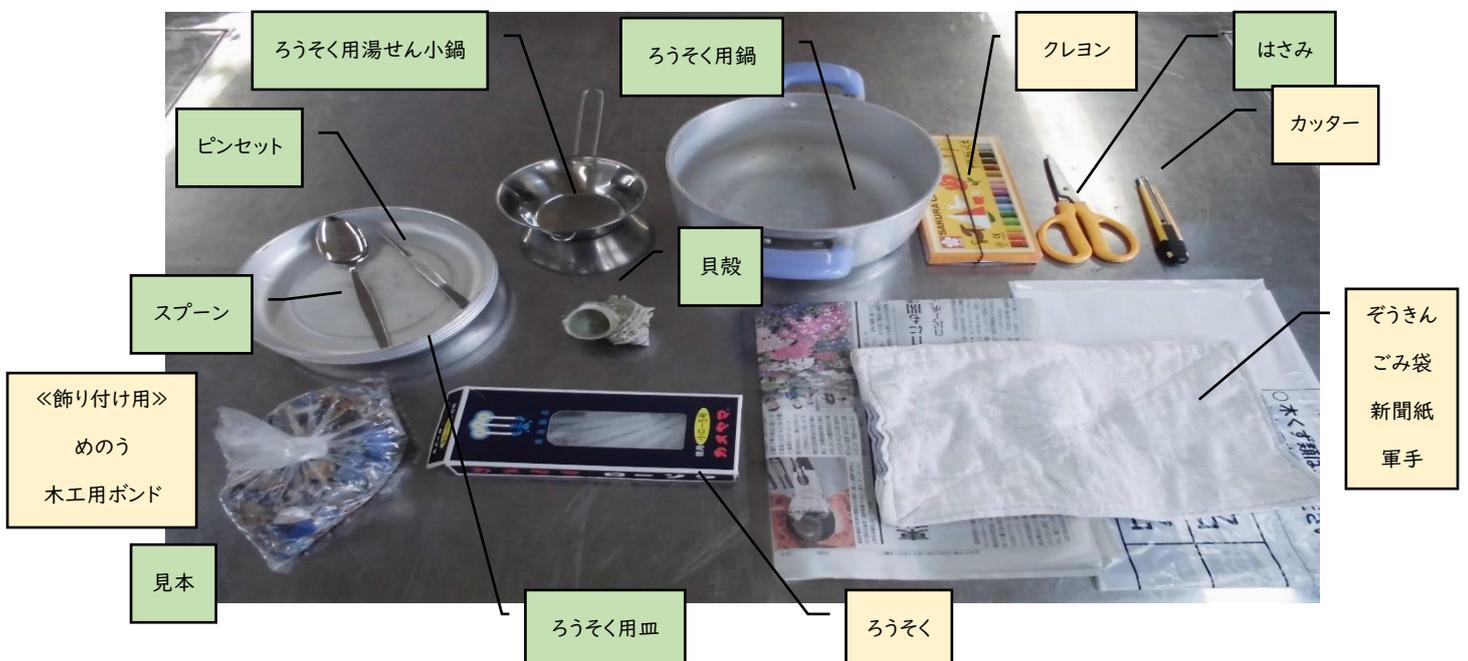
- ・ 自分の思いを大切にし、ここでしかできない表現力豊かな作品を作る。
- ・ 作品を完成させる喜びを味わう。
- ・ 仲間の作品を互いに鑑賞し、理解を深め合う。
- ・ 準備から後片付けまで協力してやりとげる。

準備物

自然の家で準備しているもの			団体に準備するもの(1人あたりに必要な数量)	
用具名	場所	個数	用具・材料名	個数
貝殻(サザエやアワビ) ◆	事務室	必要数	ろうそく★	小口5号 5~6 本
はさみ	事務室	20 本	軍手	1 双
見本	事務室		ぞうきん	1 枚
ろうそく用鍋	海の学習室	5 個	ごみ袋(食堂で購入可)	1 枚
ろうそく用湯せん小鍋	海の学習室	18 個	新聞紙	適宜
ろうそく用まな板	海の学習室	5 枚	若狭めのうの石★(飾り付け用)	適宜
ろうそく用皿	海の学習室	20 枚	木工用ボンド★	1 本
ろうそく用ピンセット	海の学習室	5 本	(アワビを使用する、もしくは、貝殻に飾り付けする場合)	
ろうそく用スプーン	海の学習室	5 本	クレヨン(ロウに色をつける場合)	1 セット
ろうそく用バット	海の学習室	5 個	カッター(クレヨンを削る際に使用)	1 本
◆:必ず事前に必要数をお伝えください。タイミングによっては、ご準備が困難な場合がございます。			★:食堂でも販売をしています。(持ち込みも可)	

※自然の家で準備している活動用具の数は「令和8年利用ガイドP26-27」にも記載されています。

※海の学習室には鍵がかかっています。鍵は事務室で貸出します。



手順

- ① 好きな貝殻を選びます。
※事務室に必要数取りに来てください。
※アワビを使用する際は、ボンドや紙粘土で穴を塞ぐ
必要があります。



- ② 貝殻ろうそく用鍋に水を入れお湯を沸かします。
ろうそく用湯せん小鍋にろうそくを入れて溶かします。
一人分は5～6本です。

- ③ 溶かしたろうから芯をピンセットで取り出します。
※幼稚園児や小学校低学年の児童は必ず
大人の人と一緒に作業しましょう。
※鍋や溶かしたろうは熱いので、やけどに注意して
ください。



- ④ ろうそくの芯をはさみで適当な長さに切ります。
⑤ 溶かしたろうを貝殻に流し込み、芯を固定します。

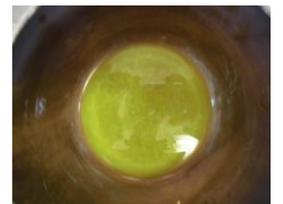


【色をつける場合】

溶かしたろうにクレヨンを削って入れることで、色をつける
ことができます。

【飾りつけを行う場合】

ろうが完全に固まらないうちに、めのうの石を
飾り、ピンセットを使って動かないように固定します。
貝殻の入り口部分は、ボンドを使って飾りつけます。

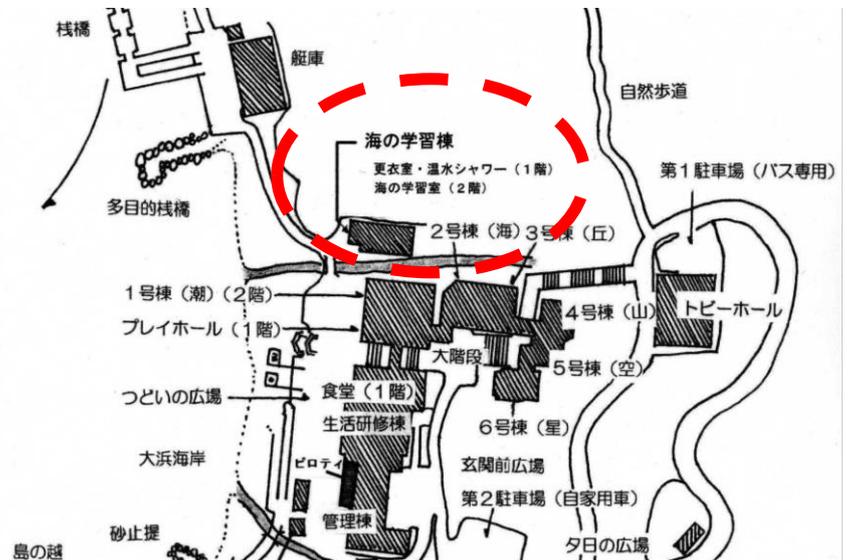


- ⑥ ろうが完全に固まったら完成です。
できた作品はお互いに見合しましょう。



活動場所

- 海の学習室 (鍵がかかっています。鍵は事務室で貸出します。)



ふりかえりの視点

- 材料などから豊かな発想をし、表し方を工夫して楽しんで作ることができたか。
- 協力して準備、後片付けができたか。
- できた作品をお互いに見合うことで、それぞれのよさに気づくことができたか。

指導上の留意点

- 火の取り扱いには十分注意し、換気も十分に行うようにしてください。
- 溶かしたロウなどでやけどをしないように十分気をつけてください。
- ろうそく用湯せん小鍋についたロウは、新聞紙等でできるだけきれいにふき取り、片づけてください。
- テーブルやコンロなどについたロウはスプーンや定規などで削る等、綺麗にしてください。

2016年3月作成

最終更新 2026年3月